

2016 年北海道周遊旅行記

2014・15 年に続き、夏休み長期旅行。今年は、東北経由北海道に再挑戦。8 月 23 日に枚方を出発し、新潟・佐渡そして、山形・岩手青森経由して青函連絡船で北海道を目指しました。くしくも、8 月 23 日は昨年の東北旅行の帰還日でした。

8 月 24 日(水) 2 日目

国道 1 号線～久御山IC～京滋バイパス～名神～北陸道～新潟港～佐渡

前夜 21 時 12 分枚方市を出発(国道 1 号線～久御山IC～京滋バイパス～名神～北陸道: 尼御前・中境・米山 SA で休息)し新潟港フェリーターミナルに 8 時 35 分到着(575.5km)。



車をターミナル駐車場に預け、9 時 20 分発佐渡汽船フェリーで佐渡島へ。両津港に 11 時 50 分着後、ターミナル食堂にて昼食を取り、午後からは一日フリーバスを利用して島内観光。両津港とは反対側の真野湾側にある真野新町尾畑酒造を見学。佐和田方面へ移動中に佐渡博物館に立ち寄る。佐和田バスターミナルから両津港へ戻る。明日の一日観光バスを予約して、ホテルの送迎車を待つ。宿は加茂湖の畔小高い丘にあるホテルニュー桂。(17 時 45 分到着)温泉に入り、運転疲れを癒す。

8 月 25 日(木) 3 日目

～佐渡銀山～トキの里～新潟市

朝風呂・朝食をいただき、8 時の送迎バスで両津港。定期観光バスで名所めぐり。まずは、佐渡金山。



その後、西三川砂金パークで砂金すくい。

これが??? 小木港でたらい舟体験。舟の船頭さんが知人の娘さんそっくりに・びっくり。



昼食後は、トキ保護センターでトキの見学後、両津港に戻る。利用者が5組と少なかったため、予定より1時間も早く終了??



16 時 20 分発の佐渡汽船高速船(ジェットfoil)で新潟港に戻る。フェリーが 2 時間半に対して、ジェットfoilは 1 時間 5 分と早い。車に戻り、2km程のANAクラウンプラザ新潟にチェックイン。

夕食は、歩いて 5 分ほどの魚市場や飲食店がならぶピア万代にある弁慶寿司。2 年前に行った場所です。本店は佐渡にあり、安くて美味しい。



8 月 26 日(金) 4 日目

～庄内～月山 PA～山形県大石田町

8 時 55 分出発。コメダ珈琲でモーニングとルートチェック。日本海東北自動車道(聖籠新発田 IC)～中条本線～国道 7 号線～日本海東北自動車道(いらかわ IC)～鶴岡西～国道 7 号線～庄内物産館ふるさと本舗へ。昼食を取り、月山方面を考えるが風雨つよく断念。山形自動車道鶴岡 IC1 に入り月山PAで雰囲気を楽しむ宿への直行とする。西川 IC から国道 112 号線・県道 458 号線～大石田町のあったまりランド深堀へ。(16 時 11 分到着・240.1km)



受付に十四代の空きビンがいっぱい。聞くと 8km 程手前に蔵元の高木酒造があるとのこと。販売を聞くと宿にも無いし、町内でも買えないそうでした。町営の宿舎は安くて温泉もばっちり。夕食はこれでもかぐらい量でびっくり。

8 月 27 日(土) 5 日目

～尾花沢市役所～盛岡市～小岩井農場～青森県弘前市

9 時 18 分出発。宿の方から花笠まつりがあるとの情報で、宿から 2km ほどの尾花沢市役所へ。花笠まつり見学。



国道 13 号線を北上(横手湯沢道路十文字本線)、横手市から秋田自動車道に入っている。丁度大曲花火大会日、反対車線秋田方面は長蛇の渋滞。以前栗拾いをした錦秋湖SAで休息後、東北自動車道に入り盛岡へ。盛岡冷麺の有名店ぴよんぴよん舎で昼食。国道 46 号線西に走り小岩井農場へ。30 年ほど前に来たことがあるが、全く記憶と違っていた。ここは子供連れは良さそうだが？16 時に農場を出て県道 219・278 号線から東北自動車道(西根IC)に入り一路青森へ。大鰐弘前 IC から国道 7 号線・県道 128・260 号線で、弘前城近くの弘前グランドホテル。(18 時 10 分到着 363.2km)

ホテル近くの宿お勧め居酒屋で夕食。

8 月 28 日(日) 6 日目

～岩木山～青森港～函館港～湯川温泉

7 時から日曜朝市へ散歩。ホテルに戻り朝食後、8 時 51 分出発。今日は、昨年天候不良で果たせなかった岩木山へ。県道 3 号線を 30 分程で岩木山スカイラインの入り口。ゲートで先行車があり、少し待ってスタート。全

長 9.8 キロ、その間 69 カーブがすべてヘアピンカーブ。10 分程で先行車に接近。プリウスは道を開けてくれた。サンキュー。パドルシフトのレヴォーグは快適。楽しい！駐車場について、記念撮影。山頂までリフトがあるが、強風もあり、断念。しばし景色を楽しみ下る。



ここから青森港へ。岩木山神社に立ち寄り参拝。その先にはとうもろこし街道になっている。多くの車が立ち寄っているので、昼食用に購入。(後でわかったがこのとうもろこしは、「嶽きみ」と呼ばれているブランド、最高の味です。) <http://www.dakekimi.com/>

8 月 29 日(月) 7 日目

湯川温泉～大沼～ニセコ～キロロリゾート

10 時ホテルを出発、近くの見晴公園に向かう。市内の展望ができそうと思ったが、香雪園と呼ばれている庭園が有名な場所らしい。道道 100 号線・国道 5 号線で大沼公園の月見橋着。2 年前にネズミ捕りを見ていた場所。雨も降りはじめ直ぐに道央自動車道に入る。黒松内 JCT から国道 5 号線をとおり 14 時道の駅ニセコからニセコ駅に。駅舎にある喫茶室で昼食。(ここはよくテレビ放映されている)小樽の宿泊を考えていたがキロロリゾートの格安プランを見つけて変更。国道 393 号線からトリビュートポートフォリオホテル到着 1。(6 時 10 分 244.2km)



ロビーは4・5階ぐらいまでの吹き抜け。豪華さが残っている。ここは、かつて地元赤川村とヤマハが占冠村のトマムを真似て作ったバブル期のリゾート。ピアノホテルと呼ばれたいたところ。館内での4,000円夕食券に朝食バイキング(2,000円)に温泉施設券(900円)がついてツインルームが一人1泊8,750円。

現在のスタッフはほとんど海外からの留学生などのバイトようで(かなり日本語があやしい)、レストラン街も半分は締まっていた。

リゾートホテルなので、部屋も広くグットでした。



これは、体験プログラム施設に飾ってあった2輪駆動の自転車(車で言えば4WD車)

8月30日(火) 8日目

～小樽～札幌市

ホテル周りを散策して、朝食。スキースリフト側のもうひとつのホテルシェラトン(マウンテンホテルと呼ばれたいた)を見学。(こちらだと8,000円とまだ安い)

11 時 31 分にホテルを出発、国道 393 号線・毛無山展望台・小樽市へ。まず小樽の目的であるシャコを求めて南樽市場・新南樽市場を搜索。小樽のシャコは大阪・瀬戸内海などに比べ大きい。しかしシーズンほぼ終了のようでちょっとしか無く、値段も 2 年前より高くなっている。ここも漁獲量が減少のよう。観光地中心のかま栄に駐車して、かまぼこ購入と周辺を散策。

今夜は台風が北海道の日本海側に接近する予報。石狩湾沿いに留萌まで走りたかったが、札幌に避難。少しでもと海岸沿いの道国道 5・337 号線で石狩市に入り、そこから南東の札幌に入りホテルマイステイズ札幌中島。
(17 時到着 77.7km)



1 時間弱で青森港フェリーターミナル到着。14 時 35 分発の青函フェリーで函館港へ 18 時 30 分着。ここから湯の川温泉のホテル雨宮館へ 18 時 50 分到着。(105.2km)近くのスーパーで食材を買って部屋食。

8 月 31 日(水) 9 日目

～増毛駅～留萌駅～苫前町

ホテルは中島公園東横にあり、台風一過の園内を散策して近くのコーヒーショップでモーニング。10 時 30 分ホテル出発し、北大植物園に行こうと近く駐車。入り口では、台風の影響を受け午前中臨時休業。残念、しかたなく歩いていると六花亭を見つけ入る。さて、元々小樽から留萌の石狩湾沿いを走る予定だったので、昨日石狩市に近い国道 231 号線を北上。途中で雄冬岬展望台に立ち寄り、増毛駅に駐車。



増毛～留萌間が今年の 12 月に廃線なる。留萌までの列車時間を確認し一人分の切符を購入。発車まで、増毛灯台や酒蔵など

を見学。15 時 41 分発の深川行きに家内が乗車し、車で並走、楽しいですね。車方が少し早く、先回りで写真撮影。



北海道は廃線が続く。既に廃線（赤色線）になっているマップを見つけたので、アップします。



留萌駅で以前親切案内していただいた観光案内所で休憩。



国道 232 号線をさらに北上して苫前町とままえ温泉ふわつとに到着。(17 時 17 分 177.8km)

9 月 1 日(木) 10 日目

～羽幌町～朱鞠内湖

ここ「とままえ温泉ふわっと」はオートキャンプ場も隣接、朝の散歩でチェック。



9時43分出発し、近くの漁協直売所をのぞいてから北上して羽幌町道の駅で情報収集と思ったが何もない。しかたなく羽幌町役場に行き観光部署で情報収集。羽幌町からは天売島(てうり)・焼尻島(やぎしり)の離島へ渡るフェリーがある。天売島はウトウの繁殖地なので、見学や宿情報を問い合わせ。ウトウは春5月ごろがシーズンで、9月からはフェリーの本数が少なくなるとのこと。渡るのは断念。教えてもらった近くの北海道野鳥センターへ移動して見学。ここで今夜の宿泊先を朱鞠内湖に決定。キャンプがいいのだが、夜中が雨情報とあり宿泊施設を予約。

ホクレンスーパーで食材を仕入れ、観光パンフにある「夫婦愛の鐘」を探す。パンフ地図・ナビにグーグルマップを照合しても見つからない。国道239号線を行ったり来たり。町役場に電話で問い合わせやっと発見。国道に案内板ぐらいほしいところ。



記念撮影しえ、道道528号線に入り朱鞠内湖へ。14時45分到着(103.5km)レークハウスしゅまりないで予約確認後、湖側で遅い昼食。素晴らしい景色。北欧に来たようななんとも言えない美しさ。



景色に魅了され、夕方までのんびりしてレークハウスにチェックイン。

9月2日(金) 11日目

～士別市～幌加内町

昨夜テレビで幌加内高校の高校生が蕎麦打ちの段位を取っているとの番組で、土曜日に幌加内町で新蕎麦祭りが開催されるらしい。朝市で電話で幌加内町の道の駅にあるコテージを予約。そこまで今日中に着けばよいので、朱鞠内湖から東の士別市に移動。10時出発し、市内中心の手前にある「羊飼いの家」。サフォークランドとあるがよくわからない。

観光情報を求めて士別駅に行くも駅員さんから地図1枚をもらうだけ。観光情報サイトもわかりづらい。



夕食材料も必要なので、大規模店の西条百貨店に行く。百貨店だがさすがに北海道、アウトドア用品コーナーには農機具などもあり、面白い。昼食をとり、道道 293 号線から国道 239・275 号線と通り道の駅に到着。少し早いので近くにあるポンカムイコタン鉄橋跡を見学してから戻りチェックイン。(15 時到着 88.1km)



ここは「せいわ温泉ルオント」という名前の温泉が併設されている。

温泉では明日の蕎麦まつりに出店のため神戸から来てメンバーに出会って、蕎麦祭りの情報をいろいろと聞くことができた。

9 月 3 日(土) 12 日目

～幌加内町新そば祭り～名寄市

9 時 35 分出発。幌加内町に入り入道に従い駐車場へ。



多くの車が来ている。昨夜聞いた情報から幌加内高校の店へ直行。既に長蛇の列。順番を待つこと1時間、高校生が打ち立ての蕎麦をいただく。



その後、ホールに移動してみると、蕎麦打ちの段位認定会をやっている。1回20分ぐらいで一日で10回ぐらいやるらしい。参加者みなさん真剣な表情で取り組んでいる。幌加内高校の生徒も参加していて、一番早く打ち終えていた。



なかなか蕎麦まつり蕎麦を堪能した。駐車場に戻る途中に駅舎跡があった。昨夜見た鉄橋があった。廃線になったJR 深名線(しんめいせん)。駐車場横のトラクターにも乗ってご機嫌。



本日の宿がある名寄市へ移動。

道道 48 号線から和寒駅で写真を撮って国道 40 号線を北上。途中の道の駅絵本の里けんぶちと道の駅もち米の里なよろに立ち寄る。なよろでは、半分のメロンにアイスがメロンアイスが 500 円と最高。

名寄駅で観光情報を得てから名寄温泉サンピラーへ。(16 時 55 分到着 90.2km)



9 月 4 日(日) 13 日目

～名寄健康の森～美深町～音威子府町

10時7分出発。直ぐそばにある名寄健康の森に立ち寄る。ここは200haの広さ、400mトラックの陸上競技、サッカー競技、そして36ホールのパークゴルフ場がある。2014年の最後にやろとして果たせなかったので、用具を借りて初体験。なかなかうまくいかないが、楽しい。



国道40号線を北上して、美深町の道の駅美深。ここで昼食後、奥あるびぶかアイランドへ。丁度お祭りをやっていました。



温泉宿泊施設にキャンプ場と苫前と同じような配置の施設。さらにここから北上し、音威子府村の住民保養センター天塩川温泉へ。(15時到着 56.9km)

9月5日(月) 14日目

～中川町～天塩町～サロベツ原生花園～中川町

9時23分出発宿を出て、国道40号線を北上。国道から脇道い入った天塩川そばの観光パンフにあった北海道命名の地に寄る。



幕末の探検家 松浦武四郎が天塩川を調査した時にアイヌの人から「カイ」は「この国に生まれたもの」と言う言葉を教えられ、明治 2 年(1869 年)開拓判官であった武四郎が、日本の「北」にある「カイ」、それに旧領土を指す「道」をつけ『北加伊道』という案等を提案をし、この『北加伊道』を基にし、現在の『北海道』の名称が誕生したとされている。

道の駅なかがわで休憩後、近くの町営ホテルに寄って予約。ここから国道 40 号線・道道 855・551 号線を通り天塩温泉に行く。娘から依頼のシジミラーメンを買出し。ついでにラーメンで昼食。日本海沿いオロロンライン(道道 106 号線)に入り、2 年前に通過した北緯 45 度ライン。ここを超えて、道道 444 号線からサロベツ原生花園を見学。



帰りは、幌延バイパスから国道 40 号線で予約したホテル「ボンピラ・アクア・リズイング」に 16 時 11 分到着(173.1km)

円筒型の変った建物です。



9月6日(火) 15日目

～中頓別町

今日は50km程先のオホーツク海との中間点までの移動。一日雨模様であり、チェックアウト後も日帰り温泉に申込み休息室でゆっくり。ホテルのスタッフの昼食を尋ねると道の駅なかがわが有名らしい。慌てて13時5分出発し、道の駅なかがわで昼食。



焼きカレーが有名らしいが、既に売り切れ。しかたなく、牛トロ丼をいただく。



ここから国道 40 号線音威子府まで南下して、国道 275 号線を東に向かう。道の駅ピネンシリに向かいにある。
ピネンシリ温泉ホテル望岳荘 15 時到着 (62.1km)

9 月 7 日 (木) 16 日目

～クツチャロ湖～紋別市

今日も朝から雨、中々止まない。チェックアウト後しばしロビー休憩。国道 275 号線を東に走りクツチャロ湖へ。強烈な雨。車から出れない。近くの水鳥観察館に何とか入る。オホーツクライン (国道 238 号線) を南下。北緯 45 度メモリアルから道の駅岡島で昼食)。さらに南下した道の駅雄武町の横にある出塚水産でかまぼこ、次の道の駅おこっぺでヨーグルトを買って紋別市へ。

本日の宿は紋別プリンスホテル、ツインが無くダブルルーム。16 時 30 分到着 (170.9km)

9 月 8 日 (金) 17 日目

～コケム湖～網走刑務所～小清水町

やっと雨が上がったが、どんよりとした天気。10 時 2 分ホテルを出て近くの漁協直売所・マルカイチ水産でお土産を大阪へ送る。オホーツク流氷科学館、ここは 2 年前道の駅のスタンプラリー帳を無くした場所。マイナス 20℃ の厳寒体験室に入る。



科学館を出て直ぐにコケム湖。ナビを見るとオホーツク沿いを走れそう。一週してから国道に戻る。



道の駅 かみゆうべつ温泉チューリップの湯に寄ってから近くのセブンイレブンで昼食。国道 238 号線を更に南下
国道 39 号線から網走駅まで、網走刑務所が近いようなので、寄ってみる。ここが本物の刑務所。



市内を通り抜け、国道 244・259 号線から小清水町の温泉ふれあいセンター16 時 53 分到着(167km)

9月9日(金) 18日目

～斜里町～清里町

10時チェックアウト出発。国道334号線から斜里町のビッグマートみたにへ。ここは2年前お土産の海産物を買った場所。店員さんい社長と親切に対応してくれた。今回も大阪に送る海産物を依頼。道の駅斜里で昼食をとり、国道334号線・道道1115号線を通り清里オートキャンプ場に立ち寄る。昨日で閉鎖されて中に場内に行けない。残念。2年前に車中泊した道の駅パパスランドさつづるに寄ってから清里町ホテル緑青荘15時20分到着(55.4km)

9月10日(土) 19日目

～神の子池～弟子屈町～多和平～標茶町

9時44分ホテル出発。近くの清里焼酎蒸留所・清里情報交流施設を見学。昨夜ホテルで飲んだジャガイモ焼酎をゲット。道道1115号線からさくらの滝へ。台風後なのでものすごい水量。流木も多数。



ここは鶴瓶の家族に乾杯で放映された場所。2年前は気づかず行けなかった。道道1115号線に戻り神の子池から裏摩周展望台へ2年前と同じコース。



今回も裏摩周展望台はガスで何も見えず。ここから道道150・885号線・国道243号線で摩周駅で情報を得て弟子屈ラーメンで昼食。スーパーフクハラで食糧を調達して道道1040号線から多和平へ。360度展望できる、これぞ北海道と言うべき眺め。最高です。



国道 243 号線に戻り、虹別オートキャンプ場 15 時 30 分到着 (118.5km)



ここで 2 泊。今回初めての連泊。キッチンやトイレ・シャワー付きのコテージ。

ファンヒーターが入っていたので、夜は暖房。

9 月 11 日 (日) 20 日目

～開陽台～中標津町～標津町 (多和平往復)

朝食を済ませ、雨続きで泥だらけだったレヴォーグの洗車。ピカピカの車で、道道 885・150 号線から開陽台に向かう。



多和平の 360 度にくらべて 330 度の展望だが、ここはここで素晴らしい遠望。北海道らしさを感じられる場所です。



(私のホームページトップ写真にも使っています。)

この周辺の道は「ミルクロード」と呼ばれているらしい。開陽台から東方向の町道北 19 号道路の「ミルクロード」。アップダウンがあり最高です。



道道 150・69 号線を通り中標津の中心街に入ると夏祭り。中標津総合文化会館の側に車を止めて、昼食を兼ねて休憩。



近くの雪印工場見学に向かうが残念休み。この後の大雪山へ向かうことを考えユニクロで温かいインナーなどを購入。スーパーフクハラで食材を買って虹別オートキャンプ場 1 に戻る(16 時)。夕食の段取りをして暗くなりそうな 19 時前に多和平に向かう。満天の星空に期待するが、到着してみると雲が多く、残念。戻って夕食後にキャンプ場グランドでは結構な星が見えました。(114.6km)

9 月 12 日(月) 21 日目

～厚岸駅～達古武～和琴岬～弟子屈町

キャンプ場をチェックアウト 10 時 58 分出発。道道 13 号線で茶標駅を通り道道 14 号線に入り厚岸駅。駅前の氏家待合所の牡蠣弁当で昼食。ここは 2 年前に来て売り切れ 2 時間待ちで断念した場所。今回は 1.5 人前なら残っているとのことで何とか食べる事ができた。



近くの厚岸漁協直売所に向かう。ここも 2 年前に立ち寄った場所。蠣など夕食材を仕入れる。ここの牡蠣はマルエモンとカキエモン。小粒の方が安くてなお美味しい。国道 40 号線を東に戻り釧路手前から道道 1003 号線・国道 391 号線に入り達古武オートキャンプ場に立ち寄る。台風の影響で 2 年前のテントサイトも水浸し。帯広周辺の被害が酷いがこの辺りでも影響がある。国道 243 号線から摩周駅を超えて屈斜路湖の和琴半島。



屈斜路湖の南側で湖に突き出した場所。20 分ぐらいで歩けようだが、散策路の入り口で通行止め。台風の影響で散策路が水没している。露天風呂があったりで面白そうな場所だが、残念。直ぐそばの今夜の宿、屈斜路湖プリンスホテルにチェックイン。(16 時 10 分 189km)



9 月 13 日(火) 22 日目

～美幌峠～美幌駅～ハッカ記念館～北見市

今回の旅行の第一番の目的である大雪山の紅葉。層雲峡から黒岳と東川町からの旭岳。出来れば北見市から国道 39 号線で層雲峡に入り。その後旭川から旭岳に向きたい。しかし、朝から情報収集するが、国道 39 号線の石北峠の通行止めは解除されていない。石北峠が通れない場合は北の 333 号線で上川町に入り層雲峡に戻るルートなる。



(9 月上旬での北海道道路通行止め＝情報赤い○×。幹線道路では石北峠・狩勝峠・日勝峠と大雪山周辺はアウト。)

紅葉は例年だと 15 日から 20 日が見頃らしいが？峠の開通に期待しながら、迂回ルートにも近い情報で北見市留辺蘂町の温泉宿を予約。12 時前にチェックアウト。予定としてホテル側からは道道 558 号線で津別峠を超えて美幌町に向きたいが、ここの通行止め。し

かたなく国道 243 号線で美幌峠に寄ってから美幌駅に到着。駅の観光情報で、肉の田村を教えてもらい昼食。焼肉で昼食は初めて。



美味しい。近くの店直売店で夕食用に肉を買って北見市へ移動。道道 122 号線から北見ハッカ記念館に立ち寄る。北見駅の先にあるイトーヨーカ堂で食材を準備して、滝の湯温泉夢風泉に 17 時 2 分到着。(110.7km)

途中の 39 号線の看板で今日から昼間のみ峠が通れるとの情報、ラッキー。早速明日の層雲峡の宿を予約。

9 月 14 日(水) 23 日目

～石北峠～層雲峡～層雲峡温泉

宿の横が足湯とパークゴルフ場。無料で利用できる。丁度芝刈りに近くの人が来ている。刈り終わりを待って。パークゴルフに再挑戦。刈りたての芝生を気持ちがいい。景色も良い。



11 時出発し、国道 39 号線石北峠を超える。片側交互通行だが、まだ通行車両が少なく峠まではスムーズ。



峠を越え、層雲峡の駐車場に入る。銀河の滝や少し登った場所にある双瀑台など見学。石狩川は泥水で濁っており、流木が至る所に散乱。



層雲峡温泉駐車場に止めて昼食。食後は歩いてロープウェイ横の層雲峡ビジターセンターで明日の情報収集。車にもどり駐車場の隣今日の宿銀泉閣に到着。(15 時 10 分 54km)

9 月 15 日(木) 24 日目

～黒岳～当麻町～旭岳温泉

黒岳ロープウェーを運行するりんゆう観光のHPには毎日黒岳の情報が掲載される。この時期は紅葉情報。例年の見頃は 15 日頃。1 週間ほど前からチェックしてきたが、その頃から今年は 1 週間程度おくれ、今朝で 7 合目で紅葉が始まる情報。

車をホテルに預け、観光バス客が来る前にと 9 時半の黒岳ロープウェーに乗車。



ロープウェイで 5 合目からリフトに乗り換え 7 合目 1,520m。黒岳カムイの森のみちを散策。情報どおり、一部紅葉している所があるが、もう一息、少し残念だが仕方がない。



帰りのリフト乗り場前で、リスを発見。このリスも人間のエサ目当て！



ホテルの駐車場に戻り、着替えて、13時出発。国道39号線から旭川紋別自動車道上川ICに入る。愛別ICで降りて、国道39号線からでんすけスイカで有名な当麻町の道の駅とうまと・木遊館に立ち寄る。近くの当麻山にあるくるみの庭。オープンになっている綺麗な庭園です。上野ファームが監修されたようです。庭の前は温泉施設、横はスポーツ施設にキャンプ場とロケーションもばっちりの場所でした。にここから道道140・1150号線で東川町に入り道の駅かみかわの立ち寄ると敷地内にモンベルの店があった。アウトドアプログラムが豊富な場所のよう。ここからさらに南下して忠別湖を通り旭岳に向かう。途中から突然の大雨。ワイパー高速でも前が見えないほどの土砂降り。するとアイサイトが突然ダウン、こんな時こそ働いてほしいのに？カメラでのチェックなのでアイサイトの弱いところだ。黄色ランプがつき、通常なら車間距離が表示される部分にEyesightの文字に\が入っている。



予約した万世閣ホテルベアモンテは、旭岳ロープウェーの直ぐそばだった。(16時50分到着 108.2km)

9月16日(金) 25日目

～旭岳～美瑛駅～富田ファーム～占冠村～千歳市

旭岳ロープウェーは情報が少ない。こ昨日同様、ホテルに車を預けて、観光バス到着前にロープウェー乗車し、5合目 1,600m の姿見駅。約 2km 弱の自然探勝路周遊がある。紅葉は黒岳同様だが、散策路は変化があって楽しい。最初はガスがかかっていたが、奥にある展望所につくと次第消えて視界がハッキリ。岩肌からガスの噴き出る場所が数か所あり、迫力もあった。



ホテル駐車場を 12 時 48 分出発。美瑛駅を目指す。道道 1150・213 号線・国道 237 号線からゼルブの丘。ここは 2 年前に雨の中バギーに乗った場所。



美瑛駅横の道の駅美瑛で少し休憩して富田ファームに入る。



軽く食事をとって、千歳へ移動。富良野国道を南下し道東自動車道占冠 IC に入り千歳東 IC まで。国道 337 号線から道の駅ちとせに立ち寄ってから、ホテル 17 時 40 分到着。(197km)

9 月 17 日(土) 26 日目

～千歳空港～ウトナイ湖～イオン千歳～苫小牧東港

ホテルを 9 時 50 分出発。千歳空港に立ち寄り、見学とお土産探し。苫小牧からのフェリーが 23 時半のため、ここで夕方まで過ごす。

北海道の玄関として発着便も多い。いろいろな飛行機がやってくるので、写真撮影。



夕方 17 時半苫小牧へ移動。国道 36 号線からウトナイ湖(道の駅)に立ち寄り、最終給油して、イオン苫小牧へ。新日本海フェリーの乗り場である苫小牧東港は何もないところ。ここで夕食と時間調整。10 時前に店を出て、苫小牧東港 10 時 32 分着。乗船手続きを終えて、11 時 30 分発定刻どおり船は出航(57.6km)

9 月 18 日(日) 27 日目

～敦賀東港～枚方

苫小牧～敦賀便の方が小樽～舞鶴便より船が新しく、ステートルームがトイレ付で露天風呂もある。



天候にも恵まれ穏やかな航海で定刻通り 20 時 30 分敦賀港着。国道 8 号線から北陸自動車道敦賀 IC に入り、名神自動車道・京滋バイパスで久御山 IC から帰宅。(22 時 45 分帰宅 149.2km)。

今回の旅行のトータル走行力は 3,853.9km でした。



レヴォーグお疲れさん。